

埼玉県和光市の地域学校協働活動

【ねらい】

- 幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えとともに「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う多様な活動
- ・多くの幅広い層の地域住民が参画する。
 - ・「学校を核とした地域づくり」を目指す。
 - ・相互にパートナーとして連携、協働する。（目標の共有、対等の立場）

○地域学校協働活動の役割

「学校を核とした地域づくり」

- コミュニティ・スクールの役割
「地域とともにある学校づくり」

【今後取り組みたいこと】

- ・地域が学校に出向く
- ・地域を学校に派遣する
- ・学校でできないことを公民館事業で組み立てる。
→地元企業と連携、ドローン教室、A I ぬりえ、バスボム（入浴剤）など

埼玉県和光市の地域学校協働活動

拠点は公民館
(3中学校区単位)

和光市コミュニティ・スクール(CS) ディレクター等の役割(設置要綱あり)

- ・CSチーフディレクター(本部長、学校運営協議会への出席)
(各学校より推薦されたCSディレクターからリーダーとして1名計3名
週2回程度公民館に出勤、謝礼あり(県補助金))
- ・CSディレクター
(地域学校協働活動推進員兼務 各学校選出 人数は2~4人 委嘱)
- ・地域コーディネーター
(地域住民 3~6名 任期無し)
- ・地域連携担当教員
(各学校1名)